





# 大阪集会 5千人超

### 4野党代表が 共闘発展訴え

「改憲許すな！戦争法を廃止へ」と、おおさか総がかり実行委員会は19日、大阪市西区の鞆(うづぼ)公園(東園)で「おおさか総がかり集会」を開き、5千人を超える人たちが集まりました。

「改憲策動を許さず、戦争法の廃止、平和な沖縄を求め、いっそう力を結集してたたかう」との集会宣言を採択。集会後、「戦争法は今すぐ廃止」「憲法改悪絶対反対」と唱和しながら、御堂筋を難波元町公園までパレードしました。

集会では、日本共産党の辰巳孝太郎参院議員、民進党の辻元清美参院議員、社民党の服

部良一元衆院議員、生活の党の渡辺義彦元衆院議員の各野党代表や、ママの会@大阪の安居裕子さん、関西市民連合の塩田潤さん、学者の会の新ヶ江章友さん、京都沖繩県人会の大湾宗則元会長がスピーチしました。日本共産党の宮本岳志、清水忠史両衆院議員も参加しました。

参加者は、「戦争すく国絶対反対」のコールに合わせいっせいに「戦争法廃止」のプラカードを突き上げました。

4野党の代表は、それぞれ野党共闘の発展を訴えました。辰巳氏は、参院選では市民の声が野党共闘を実現し、発展させたと述べ、「国民の世論と市民の声があれば、野党共闘

はこれからも続きます。安倍政権打倒のためにさらに前進させよう」と呼びかけました。

安居さんは「止まっているのは子どもたちの未来は守れないと気がきました。これからは1人でも多くのママや仲間たちといっしょに、すべての子どもたちのためにさらに幅広く社会に働きかけていきたい」と話しました。

塩田さんは「参院選では結果的に改憲勢力が3分の2を超えました。けれども僕たちは悲観も楽観も、ましてや分裂している暇なんてありません。持続可能な未来のために何度でも何度でも効果的な一手を打ち続けるためにがんばりましょう」と訴えました。

# 声上げ続け続ける

9/20 五夜